

地方創生の実現に向け地域活性化の後押しに取り組む

衆議院議長 大島 理森

本日、全国町村長大会が開催されるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

我が国において、多くの町村は農山漁村地域に所在し、国土の保全や自然環境の保護、地域文化の継承などの重要な役割を担っておられます。他方、地方の過疎化や少子高齢化に伴う人口減少が進む中、財政基盤に不安を抱えている自治体も少なくありません。こうした状況の中で、住民に最も身近な自治体である町村の代表者として、福祉や医療、教育、環境などの様々な分野における、多種多様な住民のニーズに対応していくためには、大変なご労苦があると存じます。地域社会の発展や住民の暮らしの充実に向けて、日々ご尽力いただいている町村長の皆様方に、改めて敬意を表します。

先の通常国会では、「まち・ひと・しごと創生交付金」の交付等を定めた改正地域再生法や、地方公共団体への事務・権限の移譲等を進める第六次地方分権一括法が成立しました。地方創生に向けた取組が進められる中で、各町村においては、それぞれの地域の特色を生かした魅力ある町づくり、村づくりが行われることが期待されております。衆議院といたしましても、関係委員会を中心に議論を深め、地方行政の最前線でご努力いただいている町村長をはじめとする皆様方とともに、地方の活性化を後押しすべく、取り組んでまいり所存です。

結びに、本大会のご成功とご列席の皆様方の一層のご活躍をお祈りして、ご挨拶といたします。